
平成30年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成30年3月6日

質問者（質問順）

- 1 加藤 広人 委員（公明党）
- 2 古谷 靖彦 委員（共産党）
- 3 宇佐美 さやか 委員（共産党）
- 4 伊波 俊之助 委員（自民党）
- 5 山浦 英太 委員（民進党）
- 6 横山 勇太郎 委員（無保会）

教育委員会事務局

局 別 審 査

1 加 藤 広 人 委 員 (公 明 党)

1 ハマ弁について

- (1) 新入生保護者説明会でのハマ弁のPRの取組と保護者の反応について伺いたい。
 - (2) 食育セミナー・試食会及びハマ弁デーの実施状況と反響について伺いたい。
 - (3) 温かいおかずの提供に向けた検討について伺いたい。
 - (4) 提案した運用方法の検討状況について伺いたい。
 - (5) 喫食率向上のために、教職員も共に、教育委員会として一丸となって進める必要があると考えるが、教育長の見解を伺いたい。
- (要望) ハマ弁の良さが保護者・生徒に伝わるように取組を進めていただくことを要望する。

2 武道場の整備について

- (1) 現在の整備状況について伺いたい。
 - (2) 今後の武道場整備の考え方について伺いたい。
 - (3) 武道場の年間の整備校数をもっと増やすべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。
- (要望) 武道場の整備を希望する学校は、考慮して整備を進めていただくことを要望する。

3 持続可能な開発目標 (SDGs) と ESD

- (1) 「国連ESDの10年」を踏まえた横浜の学校での取組と成果について伺いたい。
- (2) 新学習指導要領とSDGsの関係について伺いたい。
- (3) 新学習指導要領の全面実施に向けた準備状況について伺いたい。

- (4) E S D 推進のために教員研修の充実を図るべきだと考えるが、教育次長の見解を伺いたい。
- (5) 関係機関との連携について伺いたい。
- (6) E S D 推進に向けた決意について、教育長に伺いたい。
- (7) 市を挙げて E S D の推進に取り組むべきだと考えるが、副市長の見解を伺いたい。

2 古 谷 靖 彦 委員（共産党）

1 教科書採択方法の改善について

- (1) 教員・学校の意思を尊重することが大事だと思うが、教育長の見解を伺いたい。
 - (2) 教科書展示会の目的について伺いたい。
 - (3) 教科書展示会で寄せられた意見をどのように取扱っているのか伺いたい。
 - (4) 本市は全国最大の採択地区であり、現場の声をより丁寧に聞く努力をすべきだと思うが、教育長の見解を伺いたい。
- (要望) 現場や市民の声が教科書採択に反映されるよう改善を要望する。

3 宇佐美 さやか 委員（共産党）

1 就学援助認定者数の増加策について

- (1) 就学援助申請用紙の改善は具体的にどう工夫するのか。
- (2) 保護者への制度周知は工夫できないのか。
- (3) 経済的困窮という理由があれば実質的な所得限度額以上の世帯でも認定すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (4) なぜ本市は生活保護基準の1.0としているのか。
- (5) あまりにも本市は経済的弱者に冷たいのではないか。
- (6) 子育て支援や若い世代の呼び込みを本気でやる気があるなら、就学援助についても対象者を広げるべきと考えるが、副市長の見解を伺いたい。
- (7) 制度を広げていくことが生活保護に陥らないためにも必要だと考えるが、副市長の見解を伺いたい。

2 学校のあり方について

- (1) 統廃合について地域住民の合意形成の在り方は今のままで良いのか、教育長の見解を伺いたい。
 - (2) 全住民対象の説明会を開いて、住民のみなさまの意見をしっかり聞く機会を設けるべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。
- (要望)住民のみなさんを巻き込んだ地域づくりにしていただくことを要望する。

4 伊波俊之助 委員（自民党）

1 オリンピック・パラリンピック教育について

(1) オリンピック・パラリンピック教育の実施状況について伺いたい。

(要望) 子どもたちのスポーツに関する関心や意欲が高まり、2020年を迎えるのが楽しみになってくるように、オリンピック・パラリンピック教育の推進を要望する。

2 地域防災拠点訓練への学校の参加について

(1) 全ての児童生徒が参加している学校数と取組内容について伺いたい。

(2) 取組を共有するための工夫について伺いたい。

(3) 全ての児童生徒が参加する取組を拡げていくべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。

(要望) 児童生徒だけでなく保護者も参加して訓練を実施することで、児童生徒だけでなく、保護者の防災意識も高まり、共助にもつながると思う。今後も防災教育の一層の推進を要望する。

3 小・中学校の通学区域制度について

(1) 通学区域制度の根拠について伺いたい。

(2) 通学区域設定における留意点について伺いたい。

(3) 通学区域制度見直しの方向性について伺いたい。

(要望) 地域の思いを汲み取った通学区域制度となることを要望する。

4 学校給食費の滞納者への対応について

(1) 28年度における滞納額と収納率を伺いたい。

(2) 給食費の滞納者への対応は、どのような流れで行っているのか。

(3) コンビニ納付について、現在はどのように取り組んでいるのか。

(要望) 徴収に法的強制力を持たせるためには、法律の改正が必要。給食費の滞納を少しでも減らせるよう、今後も国への働きかけをしっかりと行っていただくことを要望する。

5 新たな教育センターの実現について

(1) 新たな教育センター実現に向けた30年度の取組について伺いたい。

(2) 整備手法についての考え方を伺いたい。

(要望) 教職員の学ぶ意欲にこたえる教育センターの実現に向けて検討を進め、早期に新たな教育センターを実現していただくことを要望する。

6 道徳教育の推進について

(1) 先行実施した道徳教科化の成果と課題について伺いたい。

(2) 「横浜教育ビジョン2030」において道徳教育はどのように取り上げられているのか。

(3) 新しい教育ビジョンを踏まえ、道徳教育をより一層推進すべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。

(要望) 道徳教育を充実させ、新しい教育ビジョンで掲げる横浜の教育が目指す人づくりである、「自ら学び、社会とつながり、ともに未来を創る人」の実現を力強く推進していただくことを要望する。

7 本市の特性や教育施策に応じた教職員配置について

(1) 29年度の教職員配置について伺いたい。

(2) 教職員配置拡充の効果について伺いたい。

(3) 30年度の教職員配置について伺いたい。

(4) 教職員配置の課題と今後の取組について伺いたい。

(要望) 今後も横浜の特性や教育施策に応じた教職員配置を推進していただくとともに、国に対して、小学校の児童支援専任教諭の定数化等の法改正についても働きかけていただくことを要望する。

8 学校教育事務所の学校支援の取組について

(1) 学校教育事務所の学校支援について伺いたい。

(2) 今後の学校教育事務所のあり方について伺いたい。

(要望) 教員がいきいきと働くことができる学校をつくるために、学校現場に近い学校教育事務所において、学校の課題を的確に把握し、さらにきめ細かな支援を行うよう要望する。

9 スクールソーシャルワーカーによる支援について

(1) 30年度のスクールソーシャルワーカーの体制について伺いたい。

(2) スクールソーシャルワーカーの将来的な体制拡充について伺いたい。

(3) 市としてのスクールソーシャルワーカー体制拡充に向けた姿勢について、副市長に伺いたい。

(要望) すべての子どもが、見守られ、安心して生活を送り、なりたい自分になるための学びができるよう、教育、福祉の垣根を越えて積極的に取り組んでいただくことを要望する。

5 山 浦 英 太 委員（民進党）

1 いじめの防止に向けた支援について

- (1) 小中学校におけるいじめの認知件数について伺いたい。
 - (2) 教職員のスクールカウンセラーへの相談実績を伺いたい。
 - (3) いじめの解決や不登校児童生徒への支援に向けては、学校や行政、あるいは関係機関の取組だけでなく、保護者の役割も重要だと思うが、教育長の見解を伺いたい。
- (要望) 学校、教育委員会が子どものSOSを見逃さずに対応し、子どもが心身ともに健全に育成される環境づくりを推進していただくことを要望する。

2 教員のメンタルヘルス対策について

- (1) 精神疾患による休職者の発生要因は何か。
 - (2) 精神疾患による退職者の推移について伺いたい。
 - (3) 精神疾患の発生を未然に防止するための取組の状況について伺いたい。
 - (4) キャリアステージに応じた研修の実施状況について伺いたい。
 - (5) 精神疾患による休職者を減らすため、具体的な取組を一層推進すべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。
- (意見) 教員の精神疾患を未然に防止していくことは、子どもたちのためにも極めて重要であるため、さまざまな取り組みを推進していただくことを期待する。

3 特別支援教育支援員事業について

- (1) 本事業の過去3年間の実績について伺いたい。
 - (2) 本事業の現状及び課題について伺いたい。
 - (3) 本事業の今後の展望について伺いたい。
- (要望) 特別な支援を必要とする子どもたちが、地域の学校に通い、共に学びながら適切な時期に適切な支援を受けることは大変重要であり、予算を理由に支援が受けられないことがあってはならない。将来の自立や社会参加につなげ

ていくためにも、本事業の予算の拡充を要望する。

4 英語教育の推進について

- (1) 外部指標が、すべての子どもたちにとって意味あるものになるための活用について伺いたい。
- (2) 海外大学進学支援プログラムでの取組について伺いたい。

5 日本語指導が必要な児童生徒の支援について

- (1) 外国籍等児童生徒や日本語指導が必要な児童生徒の増加の状況について伺いたい。
 - (2) 日本語支援拠点施設「ひまわり」における受入支援について伺いたい。
 - (3) 日本語指導が必要な児童生徒への学校での支援について伺いたい。
 - (4) 国際教室の担当教員の育成について伺いたい。
- (意見) 外国籍等の子どもたちが日本人の子どもと同じように、安心して教育を受け、健やかに成長していけるよう、支援のさらなる充実を期待する。

6 横浜市の奨学金制度について

- (1) 本市の高校奨学金制度の周知方法について伺いたい。
 - (2) 本市の高校奨学金制度の受給者の選考手順について伺いたい。
 - (3) 本市の高校奨学金制度の見直し検討の方向性について伺いたい。
- (意見) 子どもたちが自ら未来を切り開いていこうとするときに、家庭の事情が足かせとなるようなことがあってはならない。本市の高校奨学金制度を柔軟な視点で見直し、そうした子どもたちを応援していただくことを期待する。

6 横山 勇太郎 委員（無保会）

1 給食費の値上げについて

- (1) 何年ぶりの値上げになるのか。
 - (2) 基金が設置された経緯について伺いたい。
 - (3) 基金残高のこれまでの推移について伺いたい。
 - (4) 基金残高が26年度に大きく減っている理由及び27年度に増加している理由について伺いたい。
 - (5) 今後、値上げや値下げをする可能性はあるのか。
- (要望) 今後も、給食食材安く調達する努力を続けていただきたい。また、調達のためのシステム機器も充実させ、**間違いが**起こらないような体制を作ってくださいことを要望する。

2 小学校英語の教科化について

- (1) 現在の外国語活動と新学習指導要領の指導内容の違いについて伺いたい。
- (2) 中学校の指導内容はどのように変わるのか。
- (3) 早期に英語を教えることでの子どもたちの日本語への影響について、どのように考えるか。